

名古屋市山田図書館 平成29(2017)年11月展示

【熊本地震から1年半★復興支援】

熊本と熊本地震

平成29年**11月15日(水)** ~
12月14日(木)

前震と本震による強烈な揺れが連続し、大規模被害をもたらした熊本地震から1年半が経ちました。

今後予想される南海トラフ地震とは無縁ではられない私達名古屋市民には、全く無関心ではられません。

石垣や建物が大きく崩れた熊本城は、西区比良出身の佐々成政、中村区出身の加藤清正が城主を務めた名古屋とも縁の深い城郭です。

今回、くまもと森都心プラザ図書館から写真を提供いただきました。将来の地震への備えにお役立てください。

地震図書や、熊本ガイド・パンフレットも展示します。どうぞ熊本へも足をお運びください。



くまもと森都心プラザ図書館



阿蘇大橋付近(国土地理院)



みやま市

大牟田市

南関町

和水町

山鹿市

南小国町

菊池市

荒尾市

阿蘇市

長洲町

玉名市

玉東町

合志市

大津町

熊本市

菊陽町

高森町

原市

益城町(ましきまち)

熊本市

益城町

嘉島町

御船町

宇土市(うとし)

宇土市

宇城市

美里町

水川町

五ヶ瀬町

4/14 21:36 M6.5(震度7)前震

4/16 1:25 M7.3(震度7)本震

熊本城

1587(天正15)年、豊臣秀吉の九州征服後、肥後(ひご)の地は、佐々成政(さっさなりまさ)に与えられました。成政は、もともと山田地区の比良を本拠地とした武将です。

成政が隈本(くまもと。当時の表記)城主として、太閤検地(たいこうけんち)を強行すると、従来の領主層による反対一揆が起こり、秀吉支援のもとで鎮圧されました。成政は秀吉に失政を問われ、切腹させられました。

次いで領主となった加藤清正は、隈本城の東側に新たに築城し、壮大な城を残しました。1607(慶長12)年、名を熊本に改称しました。



2016年5月12日 国土地理院・熊本市



2016年5月12日 国土地理院・熊本市

熊本城

損壊した西出丸の塀、宇土櫓、大天守、小天守



2016年7月24日 熊本写真アーカイブス

上写真とほぼ同じ場所(少し南)から撮影



2013年2月16日

熊本城大天守内の佐々成政



2013年2月16日

宇土櫓(うとやぐら)



2013年2月16日

熊本城

大地震により熊本城では、大規模被害が発生し、入城は大きく規制されています。

特別史跡に指定されている石垣のうち1割が崩壊、積み直しが必要な石垣は3割に達します。

重要文化財13棟のすべてが破損し、うち、北十八間櫓・東十八間櫓・五間櫓（ごけんやぐら）・不開門（あかずのもん）などは倒壊しました。

天守をはじめ復元された建造物にも被害が出るなど、今後の復興は大きな課題です。

北十八間櫓(きたじゅうはっけんやぐら)・東十八間櫓(ひがしじゅうはっけんやぐら)



2016年7月24日 熊本写真アーカイブス

飯田丸五階櫓(いいだまるごかいやぐら)



2016年5月12日 国土地理院・熊本市

熊本市

4月14日(木)午後9時26分の「前震」で震度6弱、4月16日(土)午前1時25分の「本震」で震度6強の強い揺れに襲われた熊本市では、多数の死者(地震による直接死4名、震災関連死58名、大雨による二次災害死2名)と負傷者が出ました。

「被災建築物応急危険度判定」では、市内の判定件数30,487件のうち、危険判定5,847件、要注意判定10,514件となり、多数の建築物に被害が出ました。

健軍商店街



河原町



益城町(ましきまち)



益城町(ましきまち)

